

## 趣 意 書

専修大学北上福祉教育専門学校は、昭和39年2月、国内で幼児教育の重要性の気運が高まる中、時代に即応するため、同年4月に「専修大学北上女子専門学院」（文部大臣の指定する幼稚園教諭養成機関として認可、二年制専門学校、保育科設置）を開校し、令和6年で創立60周年の記念すべき年を迎えます。

附属教育施設として専修大学北上幼稚園を開園、保母養成所としての認可も得て、昭和51年4月には「専修大学北上保育専門学校」（専修学校制度発足に伴い専修学校として認可）に改称しました。平成3年3月、福祉介護科（厚生大臣から介護福祉士養成機関として認可）を開設、同年4月より保育科・福祉介護科の2科を持つ「専修大学北上福祉教育専門学校」に改称し、現在に至っています。

専修大学の建学の精神を受け継ぎ、我らの理想「報恩奉仕」、我らの誓い「努力と誠実」、我らの心「愛と信」を教育目標として、これまで、卒業生4,937名（保育科3,650名、福祉介護科1,287名）を輩出、地域社会で活躍する人材の育成、専門職業人の育成に邁進して参りました。

近年、保育科においては、令和3年度より附属の幼稚園が幼保連携型認定こども園として専門学校敷地内に移転し、園児との交流が多く持てる環境となりました。福祉介護科は、高齢者や障がい者を支援する介護福祉士を目指し、国内のみならず外国人留学生も入学し、介護現場で中核的役割を担う人材を目指しております。両科とも、職業実践専門課程として文部科学大臣の認定を受け、より実践的な教育を行っております。

これもひとえに、本校はじめ本学園の教育に深いご理解と温かいご支援をお寄せくださる皆様のお力添えの賜と、心から感謝申し上げます。

私ども教職員は、先達の労苦を偲び、本校に課せられた使命を改めて確認し、21世紀において更なる発展を期するため、施設・設備の充実をはじめ教育の場にふさわしい環境の整備に努めて参りたいと考えております。

専門学校創立60周年記念事業として、式典挙行的のほか記念誌、記念動画の作成、マスコットキャラクターの作成等を企画し、準備を進めております。

これらの実現のためには、多大な経済的負担を要しますので、計画的な財政の裏付けを進めると同時に、学内における業務の合理化や冗費の節約等、自主努力を重ねております。

しかしながら、専門学校創立60周年記念事業遂行にあたりましては、同窓生、在学生ご父母、一般篤志家ならびに広く産業界の皆様にご理解とご協力を仰がなければなりません。

つきましては、「専修大学北上福祉教育専門学校 創立60周年記念事業資金募金」に対し、関係各位の特段のご協力を賜りますよう切にお願い申し上げます。

令和6年6月吉日

学校法人北上学園

理事長 宮岡 孝之

専修大学北上福祉教育専門学校 校長 六本木 郁子